

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

クリスマスローズ

今月の便り

残雪の中から顔を覗かせる清楚でロマンティックな名前のクリスマスローズの原生地は、東欧を中心とするヨーロッパ。本来の名前は学名(属名)「ヘレボルス」欧米ではヘレボルス・ニゲルだけがクリスマスローズと呼ばれています。日本ではヘレボルス属の総称として広がりました。寒い早春から5月過ぎまで花は長く咲き続けます。花卉のように見えるのは萼片、時間とともに色褪せますが花の形は保ち続けます。花の中央の子房が膨らみ種が付くので必要な量を残し株を来年の為に保護しましょう。常緑性なのでリーフだけでも美しい品種も観葉植物的に庭植えて楽しめます。北国での管理は地植えが可能なのと日照時間との関係でどこに植えても良いのですが半日日陰か大きな植物の影ができる程度の場所が良いでしょう。特殊な個体は鉢で管理するのも良いです。個人育種家さんの交配種もオリジナリティ溢れる品種群。春までの間に色々と妄想するのも北国ガーデナーの楽しみですね。今年は何の品種との出会いがあるのかワクワク気分です。(たかはし)

リンゴの「蜜の正体」は(・・・?)

リンゴをカットすると中心部に淡い黄色に色づいた部分があったとき「アッ!蜜だ!」何か得をしたような気になりますが、この「蜜」って何(・・・?)りんごの蜜の正体は、自然とできる「ソルビトール」という糖アルコールの一種です。りんごのソルビトールは光合成によって作られ、葉から軸を通して果実の中に運ばれます。果実の中のソルビトールはリンゴ本来の甘味のもとになる果糖・ショ糖に変化しますが、完熟すると変化を止めて水分を吸収して蜜になります。りんごの中でも蜜入りと表示されていると、甘くて美味しそうな印象を受ける人も多いかもしれません。実際に、リンゴの蜜の正体であるソルビトール自体には甘みはあるのでしょうか。リンゴの蜜と呼ばれるソルビトール自体には果糖の5割~6割の甘さしかないのです。その部分だけを食べても甘さを感じることはありません。蜜入りのリンゴの方が甘いイメージがありますが、蜜なしりんごと比べても甘さに差がないことが多くあります。リンゴの蜜はただ単に完熟している証なのです。蜜が酸化して黒い茶色に変色することがあります。(ながやす)

バラ園色彩館のヒミツ

寒い冬の岩見沢で植物の緑にホッとしたいならバラ園色彩館がおすすめ。外が吹雪いていようが館内では一足早く春を迎えようと植物達がゆっくりと成長を続けています。2月の初めには大きく育ったミモザの木の花も満開になり館内は良い香りに包まれます。どんなに寒くても10度。歩道やベンチもあるので温かい格好で冬の散歩を楽しめる公園です。バラ同様に温室の中も無農薬を目指しているため病害虫に対しては予防で忌避剤をメインに、都合の悪い一定の虫などの大量発生の際は発生場所だけにピンポイントで薬散している状態です。そのおかげで実は今年、越冬アゲハの蛹が2つ、スタッフによって確認されています。おそらくキアゲハだと思いますがどうでしょうか。気になる人は是非色彩館に足を運んで確認してみてください。え、なんでココに?と思う場所に蛹が着いていますよ。いつ羽化するのか楽しみでなりません。人にも昆虫たちにも優しい公園であれば良いと思います。(きのした)

ハナトラノオ

ハナトラノオは夏から秋にかけて、家庭の庭だけでなく公園などでよく見かける花です。北アメリカ原産で、日本へは大正時代に入り、丈夫でよくふえるため急速に広まりました。ハナトラノオ（花虎の尾）の和名は、美しい花がたくさん並んだ姿がトラの尾のように見えることからつけられた名前です。また別名のカクトラノオ（角虎の尾）は、茎の断面が四角に見えるためにつけられました。シソ科の多年草で学名はフィソステギア（Physostegia）です。花は四辺に規則正しく並んで咲き、ピンクと白の品種があります。葉はやや濃い緑ですが白や黄色の斑入りの品種があり花のない季節もずっと立ち上がった姿がきれいです。半日陰では花つきが悪くなるので日当たりのいい所に植えるのがおすすめです。肥沃で水はけと水もちのよい土を好み、強い乾燥は苦手です。（いとう）

森の恵み（1）

岩見沢市志文の市街地にある原始林は、北海道学術保護地区に指定されています。開拓の祖・辻村直四郎氏は風雪に耐える屋敷林を兼ねつつ、この時代を偲ぶ生き証人として、また子々孫々に杜の恩恵を享受しながら学ぶことを願い、残したのではと思います。少しでも木を切り畑にして営利を求めた開拓時代には、及びもつかないことだったのでしょう。やがて長男・太郎氏に嫁いだ順子氏は、この原始林の息づかいとそこに抱かれた暮らし、人生との関わりを詠みました。（かわはら）

鋸を手にも一位の枝を切りそろへ母屋・床の間・玄関に活けむ
夕映えは深雪の杜をあたたく包みて昏るる人のゆく跡

りんごを美味しいまま保存する方法

りんごは乾燥に弱く、水分が失われると美味しさが失われて食味が格段に落ちてしまいます。保存方法で大切なのは温度管理と水分の管理です。水分を保つことで美味しさが持続できます。温度は常温で良いですが、暖房のきいた部屋は乾燥しますから避けた方が良いでしょう。りんごの美味しさを保つために乾燥を防ぐことを目的に、ポリ袋に入れて冷蔵します。りんごを保存する際、忘れてならないことは、りんごは植物ホルモンのエチレンを強く発するため、他の果物や野菜と一緒に保存するとそれらの成熟を促進してしまいます。とにかくりんごのエチレンは他のくだもの比べると強く周りに影響を与えますので分けて貯蔵しましょう。りんごの保存で大事なのは、水分を保持することです。本来、水分の蒸発を防ぐためポリ袋に入れて密封し、冷蔵庫又は温度差のない涼しい冷暗所で保存します。長期の保存時は低温かつ高湿度に保つのがポイントです。一般の家庭用冷蔵庫ではそれほど日持ちしないので早めに食べて下さい。面倒ですがりんごを1個ずつ新聞紙などの柔らかめの紙で包んでからポリ袋に入れると温度変化と湿度変化をやさしく緩和してくれます。また新聞紙が湿度調節の役目をしてくれるので美味しさが長持ちします。特に同じ時期に出回るラフランスなどの西洋なしは熟度がすすみますから気を付けましょう。



ひとつき ひとバラ



文：曾根 浩太
(いわみざわ公園バラ園)

番外編

W. コルデス・ゼーネ社 (後編)

W. Kordes ' Söhne Rosenschulen GmbH & Co KG

スローガン：

The most beautiful Roses of the world

代表品種：

アイスバーグ Iceberg (1983 殿堂入り)

アンジェラ Angela

など多数



Seit 1887
KORDES ROSEN
Die schönsten Rosen der Welt

画像引用：<https://www.rosen.de/>

前回、コルデスの概要についてご紹介させていただきました。今回はコルデスの育種の歴史について世代ごとにご紹介していきたいと思います。

残念ながら創業者のヴィルヘルム・コルデスI世についてはあまり情報が無かったので二代目育種担当ヴィルヘルム・コルデスII世から紹介します。“クリムゾン グローリー”は初めてのピロード調の深紅色のバラで、その後の赤バラに強く影響を及ぼした品種です。また、樹高低めで房咲きという典型的なフロリバンダのスタイルを確立した“ピノキオ”。交配にハマナシの園芸品種が入っており、ハマナシの強健さを持ち合わせた系統ハイブリッド コルデシーローズの元となった“ロサ コルデシー”といった後に繋がる名花を多数輩出しています。

第三世代、ライマー・コルデスは有名なるバラ“アンジェラ”や、世界ばら会議で殿堂入りしている“アイスバーグ”というバラ好きな方なら一度は名前を聞いたことがある品種を作出した育種家です。その他にも、当園で地際までネズミの食害を受けてもその年に150 cm程度まで回復したという驚異の強健性をもつ“パルクディレクトルリッゲルズ”や当園のアーチに使用している“シンパシー”といったハイブリッド

コルデシー、伸長力があり、北海道でもつるバラとして使えるハイブリッドムスクの“ラヴェンダーラッシー”、コルデスの最初の農場があった村の名前を冠した“エルムスホルン”といったバラを作出しています。

第四世代、ライマーの息子ヴィルヘルム・コルデスIII世はとても繊細な色合いを持つ“カラメラ”や凍害に合ってもしっかりと回復して抜群の花付きを見せる“ロッチェリア”を、ティム・ヘルマン・コルデスは最強の青バラと名高い“ノヴァーリス”や筆者談になります最強のHT“グレーフィンドィアナ”、安定感のあるつるバラ“ジャスミーナ”等を作成しています。この第四世代から耐病性のランクが一段上がった気がしますね。

コルデスのバラはオールドローズからモダンローズまで多種多様な育種を行っており、かっちりした場面から野趣溢れる場面まで、様々な場面に合わせてマッチする品種を選ぶことができます。耐寒性、耐病性、花も良し！という素晴らしいバラをどんどん作出してくれる安心と安全のコルデス。第五世代以降の育種も楽しみです。因みに、今回ご紹介した品種はほとんど当園に植栽されているので、是非見に来てくださいね。

バラ園の駐車場に雪山出現! プレーパークを開催します♪

日程 2/6日・2/11金祝・2/20日
時間 10:00～14:00 係員が居ない時間はご利用いただけません。
利用料 無料 ソリやミニスキーなど、あそび道具もご用意しております!
管理・運営 一般社団法人 SLDI 地域スポーツクラブ



今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



- 2月13日(日) 13:00～15:00 折り紙でバラをつくろう 上級
料金:500円 定員:5名 講師:バラ園スタッフ

《予告》 ※お申込みは広報いわみざわ3月号が発行されてからお願い致します。

- 3月12日(土) 13:00～15:00 色彩館でスケッチしよう
料金:無料 定員:10名 講師:藤川志朗さん イラストレーター

- 3月27日(日) 13:00～15:00 家庭果樹の楽しい管理
料金:無料 定員:18名 講師:稲川裕さん 中央農業試験場

※「ばらゼミ①」は開催予定ではありますが日程詳細が未定です。
次号にお知らせいたします。

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。
電話:0126-25-6111 ホームページ:<http://www.iwamizawa-park.com/>
※材料費のかかる講座は、講師の方の準備等の都合上、開催日3～4日前までにお申込みをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

- × マスクの着用がない方
- × 37.0℃以上の熱がある方

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・定員制限や材料準備の関係から、連絡なしの欠席はお申込みをされたい他の方や講師の方へのご迷惑となりますので、ご遠慮ください。
- ・事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・密集を避けるため、各講座の定員につきましては、予告なく変更する場合がございます。
- ・換気の為、窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しください。